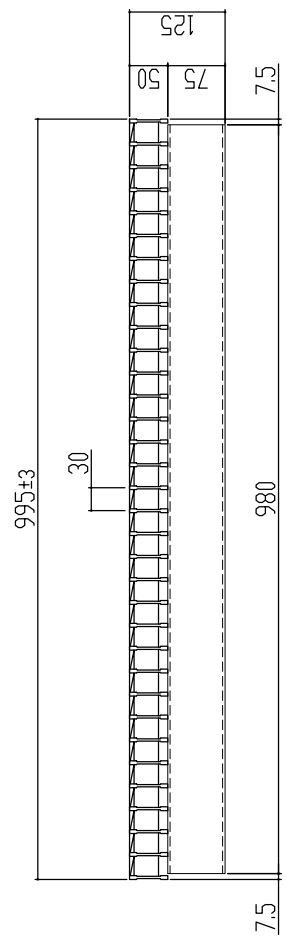


← 車輛進行方向 (側溝) →



本体重量 47.1kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正者 訂正事項 訂正年月日 訂正者 訂正事項 訂正年月日 訂正者 訂正事項	検印 山口	製図 松本	図面名称 T-14	図番 MKG-L-215-2
	承認印 平元	承認印 松本	かさ上げJIS道路側溝用 (ハイテン) グレーティング 溝幅500用 並目ノンスリップ	株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	材質 注冊材SS540	数量 縮尺	L/NJK125-505-5	(JIS H8641)
	7.5	75	50	125

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNJK125-505-5
	製品寸法	620x995x50+75
	主部材	I-5 × 3 × 50
	断面係数	Z = 1.903 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 516
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 30 / 100000$ $\omega = 16.80 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2 \quad \text{より}$ $M = 16.8 \times 0.5 \times 500 \times (516 - 0.5 \times 500) / 2$ $M = 558,600 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 558,600.0 / 1903.000$ $\sigma_b = 293.54 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{293.54 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	<p>上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。</p>
-------------	--